



民芸調家具とモダン家具を匠の技術で。  
大川で100年以上続く至高の創作家具。—— 有限会社 境木工



有限会社 境木工

所在地 / 〒831-0016

福岡県大川市酒見376

代表者 / 境 明展

TEL0944-87-5723

FAX0944-87-5752

[URL] <http://www.sakaimokko.jp/>

[E-mail] [sakaimokko@s-central.jp](mailto:sakaimokko@s-central.jp)

創業 / 明治40年10月

設立 / 平成11年2月(1999年)

資本金 / 300万円

従業員 / 25名

営業時間 / 9:00~17:00

定休日 / 日祝日、第2・4土曜日

※ 盆・正月休みは社内カレンダーによる。

境木工の創業は明治40年。境熊吉氏が一人で、ものづくりを始め、多くの人々に支えられながら産地大川とともに今日まで成長を続けてきたそうです。

ここでは、全く異なる2つの顔を見ることができます。そのひとつが日本の伝統的な意匠を大切に「吉野民芸家具」。金属製の部品を一切使わず板と板を接合する「蟻組」、23ミリもの厚さがある桐無垢材、美木の文様を美しく際立たせる塗装技術、質感のある装飾金具。妥協を一切許さないものづくりの姿勢から、まるで芸術品のような家具が生み出されます。手作業が中心のため1日に4本ほどの生産になることも少なくありません。

もうひとつがデザイナーの村澤一晃氏との



TOP VOICE

毎年多くの展示会に出展していますが、必ず新製品を持って参加しています。常に新しいものに挑戦しています。これというもベテランの職人さん達の技術があるからこそ、世界に認められる商品は年季の入った技術からしか生まれません。



出会いにより生み出された美しいモダン家具です。部材の選定から組立、塗装、仕上げまでを一貫して行う境木工では、モダン家具にも職人たちの民芸家具で鍛え上げた数々の技が息づいています。子供向けに発表したステップツールはとてもシンプルなデザインながら、簡単に真似のできない技が随所に込められています。素人に技は分からなくても品質の高さはしっかりと伝わります。その証拠に生産が全く追いつかないほど注文が殺到しているそうです。「価値ある家具」というコンセプトは、世代を超えて多くの人々を惹きつけています。



## この道40年の職人が作り上げる 美しくて座り心地の良いソファ。——株式会社 酒見椅子店



### 株式会社 酒見椅子店

所在地 / 〒831-0004

福岡県大川市榎津水落79-1

代表者 / 酒見 智大

TEL0944-86-3580

FAX0944-86-8679

[URL] <http://www.sakemi.co.jp/>

[E-mail] [shop@sakemi.co.jp](mailto:shop@sakemi.co.jp)

創業 / 昭和33年

設立 / 昭和42年

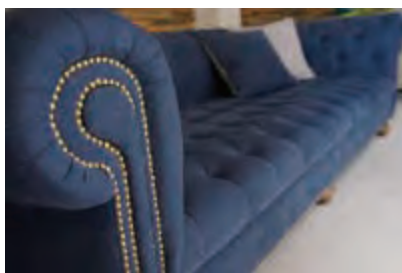
資本金 / 2,000万円

従業員 / 19名

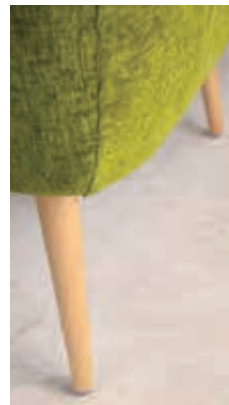
営業時間 / 10:00~18:30

定休日 / 水曜日

先代の社長が50年以上も前に家具卸業を創業以来、酒見椅子店ではソファをメイン商材として椅子づくりに取り組んでいます。同社の製品はショールームを訪れる一般客が購入するのをはじめ、別注家具では大型商業施設や飲食店舗、空港ラウンジやマンションのモデルルームなどのコントラクト家具製作やOEM生産を主に手掛けています。同社では木枠づくりからソファに使う布や皮などの裁断と縫製、仕上げの張りまで、製作工程のほぼすべてを自社工場で行っています。特に高度な技術が求められる木枠づくり



と張り上げは、この道40年以上のベテラン職人が担当。「細かな調整が求められる作業ですが、仕上りの美しさには絶対の自信があります」と酒見専務。その確かな技術と品質は、大川市内のみならず全国で認められています。最近では特に都市圏の大手建築会社や設計事務所の依頼が多く、工場もフル稼働で注文に応じています。



### TOP VOICE

今でも40年以上も前に当社で作ったソファの張り替え依頼があります。一つひとつの製品を永く大切に使用いただけるように、誠実なものづくりに取り組んでいます。





三代続く職人の技で

軸のぶれない品質づくりにこだわる。——— 酒見英木工



酒見英木工

所在地/〒831-0016

福岡県大川市酒見1623-4

代表/酒見 清一

TEL 0944-86-5333

FAX 0944-86-5382

従業員/5名

現社長は、主に人形ケースをつくっていた初代の跡を継ぎ、家具づくりを始めて50年になるといいます。現在は2人の息子と職人さんの合計5人で、食器棚やテレビ台、書棚をつくっています。

工場は田んぼに囲まれたのどかな場所にあり、中を覗くと、家具の部品が所狭しと並び、単身者や女性に人気のある小型の白い食器棚が次々とつくられていました。

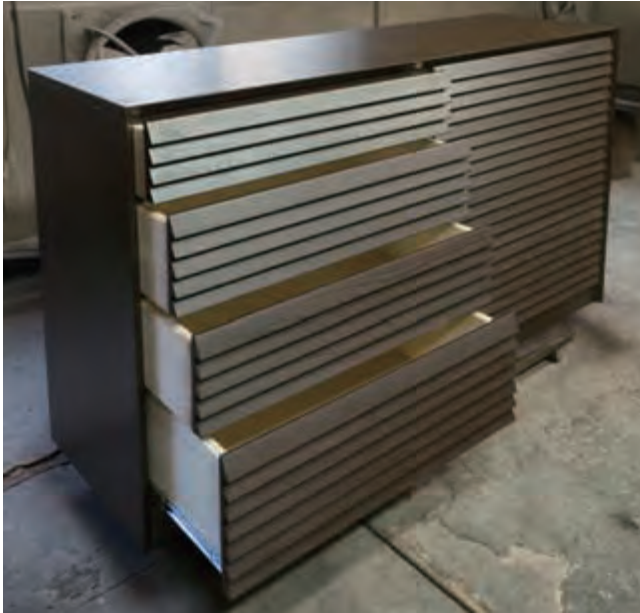


これらの商品は大川市内のメーカーを通して主にネット販売されるといいます。口数少ない社長は黙々と手を動かすのみ。同じ品質のものを毎日変わらず

つくり続け、お手ごろ価格の商品の中にも、しっかりした技がいきています。







お客様のご要望に合わせて  
 サイズ変更可能。昔気質の職人が  
 セミオーダー家具を製造します。——— 酒見木工所



### 酒見木工所

所在地 / 〒831-0028  
 福岡県大川市郷原630-3  
 代表者 / 酒見 哲也  
 TEL0944-86-2992  
 FAX0944-87-9255  
 創業 / 1949(昭和24)年  
 従業員 / 4名  
 営業時間 / 8:00 ~ 17:00  
 定休日 / 日曜・祭日、第2・4土曜

先々代から60年以上、家具を製造している会社です。婚礼家具から出発して、チェストやTVボード、洋服ダンス、キャビネットと商品の幅を広げ、約10年前からセミオーダー家具も扱っています。

特徴は、引き出しの表面を斜めに削り出したハイセンスなデザイン。パッと見ただけでは、どこに引き出しがあるかわからず、壁に見事に溶け込んで、シンプルでモダンな部屋を演出します。

中には、「熱帯魚の水槽台」というように具体的な用途を示して注文する人もいるのだとか。耐荷重が高く、収納スペースやコンセントの必要な水槽台はお客様との細かなやり取りを必要とします。部屋のコンセントの位置を確認し、重さや水に強い天板を使用して仕上げた品は評判も上々。丁寧な対応は口コミで広まり、関東方面からハイクラスの注文も増えています。

職人さんの中には先代のときから50年以

上働いている人もいて、図面を見たら、即座に作り始めることができる人ばかりだとか。材を切るスペシャリスト、磨くスペシャリストというように、それぞれ得意分野はあるものの、同社は分業制でなく1人が1つの商品を最初から最後まで仕上げるようにしています。皆が誇りと責任を持って商品づくりをする。それが同社の強みです。



### TOP VOICE

最近はなぐり加工を取り入れ、昔ながらの技術を現代のスタイルに生かしています。大きさや材の色は、お客様の希望に合わせて変更可能。仕上げもオイル塗装、ポリウレタン塗装を選べるようになっています。



60余年の長い歴史を誇る椅子メーカー。  
細かなリクエストに応えるオーダー家具も展開。

有限会社貞苅椅子製作所



### 有限会社 貞苅椅子製作所

●本社ショールーム  
〒831-0008 福岡県大川市鐘ヶ江651-2  
●アウトレットショールーム  
〒831-0005 福岡県大川市大字向島702  
代表者／貞苅 伸二  
TEL0944-86-7775  
FAX0944-86-7773  
[URL]http://www.sadakari-isu.co.jp  
[E-mail]sadakari09@sadakari-isu.co.jp  
創業／昭和28年10月  
設立／昭和38年10月  
資本金／1000万円  
従業員／29名  
営業時間／8:00～17:00  
店休日／無し



細かなリクエストに応えるオーダー家具も展開。昭和38年の法人設立当初から、椅子に特化した家具メーカーとしての歴史を築いてきた貞苅椅子製作所。同社が製作する椅子は一般家庭をはじめ、病院や幼稚園、飲食店舗など幅広く利用されています。近年では高齢化社会を反映して、公共施設や介護施設で使用する椅子やテーブルの受注が増加。「当社の椅子は小さな子どもさんや高齢者の方に使っていただく機会が多いので、製品の耐久性や安全性には細心の注意を払っています」と貞苅社長。確かな強度や安全性とともに重視しているのが、

快適性と製品に触れたときの心地よさです。その点、椅子メーカーとしての長い歴史のなかで培ってきた加工技術や生地縫製には定評があります。

現在は国内のみならずタイにも自社工場を展開。生産の大部分を海外工場が担っています。2015年3月には新しいショールームをオープンしました。



### TOP VOICE

当社は家具のまち大川のなかでも椅子に特化したメーカーです。一般住宅で使用する椅子をはじめ、病院、学校、公共施設、お寺など、さまざまな用途にマッチした椅子を提供します。椅子のことなら何なりとご相談ください。ショールームへもお気軽どうぞ。







多種多様な畳ベッドを軸にした

ライフスタイル提案をしています。——— 有限会社 貞苅産業



有限会社 貞苅産業

所在地 / 〒831-0005

福岡県大川市大字向島880-5

代表者 / 貞苅 幸広

TEL0944-86-4515

FAX0944-86-4299

[URL] <http://www.sadakari.co.jp>

[E-mail] [info@sadakari.co.jp](mailto:info@sadakari.co.jp)

創業 / 昭和34年3月

設立 / 昭和39年7月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 9名

営業時間 / 8:00~17:00

定休日 / 日祝日、第2・4土曜



1956年創業の貞苅産業は、30年以上も前に畳ベッドの開発・製造に着手した畳ベッドの先駆けです。全国の販売店への卸が中心ですが、インターネット販売を通じて一般客も年々増えています。もともと同社では二段ベッドを製作していましたが、市場の9割以上を海外製品が占めるようになり試行

錯誤の末に畳ベッド製作にシフトしました。貞苅社長自らデザインする畳ベッドはお年寄りの方に人気が高く、高齢者の使い勝手を考慮して改良を加え、手摺りや介助バー、起き上がり時のサポート機能を付加するなど、強度や機能性も格段に進化。誰もが使いやすいユニバーサルの考え方に基づいたものづくりを進めています。「よそにないもの。そして、お客様に本当に求められるものをつくらなければ、作る側の自己満足に過ぎません」と貞苅社長。近年は畳を使った製品を寝室からリビングに展開し「あぐらソファ」を開発、家具展示会で大きな反響を呼んでいます。新しいショールームもオープンし、多種多様な畳ベッドを軸にしたライフスタイル提案をしています。



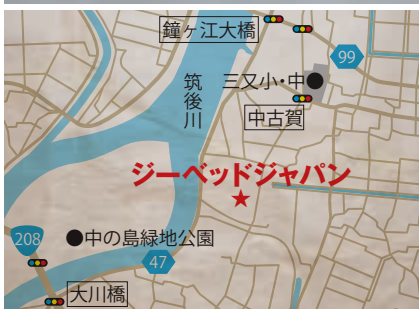
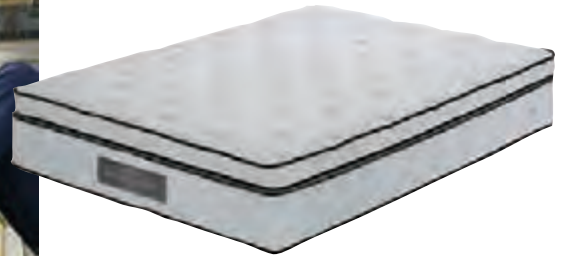
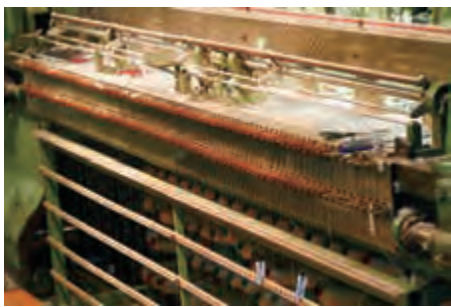
TOP VOICE

畳ベッドにこだわり続けて30年が過ぎました。お気軽に当社ショールームにお越しになり、確かな品質とデザインをお確かめください。別注・サイズオーダーやコンラクトも承ります。



純国産にこだわり

高品質なマットレスを製造。——— 株式会社 ジーベッドジャパン



ジーベッドジャパンは大阪に本社を置く寝具メーカー（株）グランツのグループ会社として岡山で設立。平成22年に本社及び工場を大川市に移転し、グランツ向けにマットレスを製造しています。

若いスタッフが分業制で製造ラインを維持しています。「スタッフが元気よく、楽しく働ける環境整備に努めています」と柳澤社長。高いスキルを持ったスタッフは、自身の担当以外の機械も操作出来るように教育されています。また、出荷前のすべての製品を検針器にかけるなど品質管理にも注力。常に清潔に保たれた工場から、安心・安全で高品質なマットレスが生み出されます。

同社で製造されるマットレスは約100種類、そのうちの半数が同社オリジナルです。工場では国内の信頼のおけるメーカーの原材料だけを使用し、純国産マットレスにこだわったものづくりを進めています。原材料の品質を保つために、表面生地縫製から梱包までの作業を一日で完了。効率的な生産のために工程管理を徹底し、製造現場では



TOP VOICE

お客様のご希望を伺い、他社製品とは差別化したオリジナルのマットレスを製作いたします。社員寮、老健施設などのコントラクト製品、OEM生産などもお気軽にご相談ください。

株式会社 ジーベッドジャパン

所在地/〒831-0006

福岡県大川市中古賀1030

代表者/柳澤 謙造

TEL0944-89-9660

FAX0944-89-9661

[URL]http://www.gbedjapan.com

設立/平成17年

資本金/1,000万円

従業員/15名

営業時間/平日 8:30~17:30

土曜日8:30~17:00

定休日/日曜祝日、第2・4土曜日







## 地元大川の船大工として創業。 現在では独自の感性を発信する家具メーカーに。

株式会社 志岐



### 株式会社 志岐

所在地 / 〒832-0089

福岡県柳川市大字田脇72-3代

表者 / 志岐 直樹

TEL0944-74-5361

FAX0944-74-5362

[URL] <http://www.jonliving.jp/>

[E-mail] [shiki@jonliving.jp](mailto:shiki@jonliving.jp)

創業 / 昭和33年

設立 / 平成6年1月

資本金 / 300万円

従業員 / 9名

営業時間 / 8:15~17:30

定休日 / 日祭日、第2・4土曜日

大川の地で船大工として創業、やがてその技は建具大工として受け継がれ、現在ではオリジナリティ溢れる家具のメーカーとして着実に歩みを進める志岐インテリア工業。主要製品であるテレビボードやサイドボード、テーブルなどは、いずれも個性的なデザインで木の暖かい風合いが活きています。家具メーカーとしては後発であったため、当初の製品デザインにはオリジナルティにこだわりました。「他社と同じような製品を作っても埋没してしまうという危機感がありました。多少奇抜であっても、お客様の目に止まる製品をつくらうと考えました」と志岐社



長。外部のデザイナーとのコラボレーションや社内でのデザイナー育成にも取り組み、他社にないオンリーワンのものづくりを実践。デザインコンペでの受賞機会が増え、知名度も向上しました。同社では業界の将来を見すえ、若手社員がイキイキと働ける職場環境づくりにも積極的に取り組んでいます。



#### TOP VOICE

当社のモットーは、心をこめてよいものをつくること。常にお客様の立場にたって、感動や喜びを与えるものづくりを心がけています。大川周辺の同業者とのネットワークにより“JON LIVING”ブランドを立ち上げ、メイドインジャパンのものづくりを発信しています。





# simms

シムスタイル



個性的なデザインと品質をテーマに生み出す  
こだわりの「アクセントファニチャー」。

有限会社 志岐家具製作所



有限会社 志岐家具製作所

所在地/〒840-2102

佐賀県佐賀市諸富町為重194-4

代表者/志岐 純一

TEL0952-47-2847

FAX0952-47-3003

[URL]http://www.simms.jp

[E-mail]info@simms.jp

創業/昭和21年

設立/平成9年

資本金/300万円

従業員/5名

営業時間/8:00~17:00

定休日/土・日

志岐社長が提案する「アクセントファニチャー」とはNEED=必要性を満たすだけの家具ではなく、一目で“この家具が欲しい”と思わせる、WANT=欲望を刺激し部屋のアクセントとなる家具のこと。確かに同社のカラフルなシェルフやSPAIRALスタッキングツールは、シンプルなデザインのなかに、見ているだけで楽しくなるような魅力を含んでいます。



これまで、さまざまな家具展やデザインコンペで多くの賞を受賞し、グッドデザイン賞には4度も輝くなど、同社の製品は機能性とデザイン性が高い次元で融合しています。また、見た目の楽しさだけでなく、自然界から抽出した自然塗料を使った家具や石けんで仕上げたソープフィニッシュ家具など、ホルムアルデヒドなど有害ガスの発生を大幅に抑制した、使う人のからだにやさしい家具づくりを進めています。



#### TOP VOICE

当社ではオリジナルデザインを柱に、家具の自社製造、販売を行っています。機能的に優れているだけでなく、素材やデザインにこだわり、つくり手自身がワクワクしながら楽しんで作った楽しい家具を提供したいと考えています。





ダイニングテーブル・テレビ台・カップボード・チェストなどアイテムは多彩で、ネットストアには全国各地から注文が舞い込みます。



無垢材と伝統製法で上質感のある家具を。

ミリ単位のオーダーで納得の仕上がり。

—— 自然工房 株式会社 (製造元 / 福山木工) ——



自然工房 株式会社(福山木工)

所在地 / 〒831-0021

福岡県大川市大字大橋213-5

代表者 / 福山 孝行

TEL0944-88-3312

FAX0944-88-3334

[URL] <http://shizen.co.jp>

[E-mail] [contact@shizen.co.jp](mailto:contact@shizen.co.jp)

創業 / 昭和3年(1928)

設立 / 平成19年

資本金 / 100万円

従業員 / 2名(12名)

営業時間 / 8:00 ~ 17:00

定休日 / 日曜日・祝日、第二・第四土曜日

GW・盆・年末年始



1928(昭和3)年に創業し、釘を使わずに組み立てる技術で、食器棚を中心とした家具の製造販売を始めた福山木工。現在も無垢材をふんだんに使い、伝統的な手法で組み上げる家具を手掛けています。

そんな福山木工が手掛ける『自然工房』ブランドの家具は、洗練されたデザインと、無垢材をふんだんに使った温かみのある上質感が魅力です。



#### TOP VOICE

細かいところも手間を惜みず、心を込めてつくる。それが、私たちのモットーです。家具に対するこだわりの強いお客さまが多いので、細かな要望にお応えするのは簡単ではありませんが、「気に入った」と言ってもらえると、全ての苦労が吹き飛びます。



注文は、お客さまの希望を徹底的に聞き入れるフルオーダーが中心。サイズはミリ単位で注文に応じ、素材をじっくり検討してもらえるよう無垢材のサンプルを送るなど、行き届いた対応が喜ばれています。「素材、サイズ、デザイン。納得してもらえるまで何度でも打ち合わせを重ね、出来るかぎりご要望にお応えしています」と、福山社長は話します。

工房では、約50年の経験があるベテラン職人を筆頭に、8人の職人が腕を振ります。見えない部分にも無垢材を使い、蟻組みや木釘といった伝統手法を駆使し、時には取っ手まで手づくりするなど、丁寧に細やかな仕事が光ります。最後は研磨や塗装を何度も繰り返す、手触りのよい仕上がり。お客さまの笑顔を思うと、一つひとつの工程や作業に心がこもります。健康に配慮した自然塗料で仕上げた家具は、一般家庭はもちろんのこと、保育園の靴箱や道具入れなど、別注家具として大変人気です。





#### TOP VOICE

微ロット・短期納品・高品質が、当社の強みです。家具に異素材を取り入れるのは手間のかかる作業ですが、魅力ある家具をつくるための手間は惜しみません。中途半端な妥協をすることなく、細かい部分にも徹底してこだわってきたいですね。

## 異素材をあしらった表情豊かな家具と、 1台からでも製造できる柔軟な生産体制。

末次家具工芸 株式会社



末次家具工芸 株式会社

所在地/〒831-0005

福岡県大川市向島1805-1

代表者/川原 宗一郎

TEL0944-87-2004

FAX0944-87-1016

[URL] <http://www.suetsugu.co.jp/>

[E-mail] [info@suetsugu.co.jp](mailto:info@suetsugu.co.jp)

創業/昭和5年

設立/昭和29年

資本金/ 1,000万円

従業員/ 30名

営業時間/ 8:15~17:00

定休日/日祝日、第2・4土曜

ダイニングボード・テレビボード・リビングボードなど、箱もの家具を得意とする末次家具工芸。製品の特徴を尋ねると、「他社の製品には見られない異素材との組み合わせですね」と、川原社長は答えます。

展示スペースに足を踏み入れると、アルミ・ステンレス・鉄・ファブリック・和紙などが効果的に使われた家具が、個性的な輝きを放っています。「毎年、東京ビッグサイトのギフトショーなどに行って、家具の部材になりそうな素材を発掘しているんですよ」と川原社長。その場で各素材の生産者と顔つなぎし、必要なときに素早く調達できるルートも確保しているそうです。

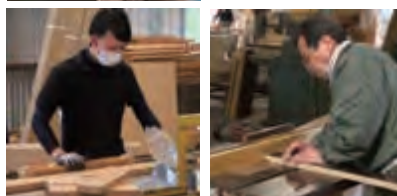
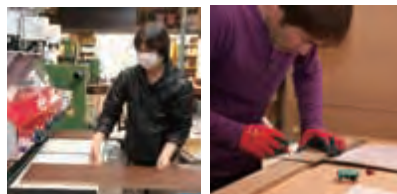
オリジナル家具のデザインは、3人の契約デザイナーによるもの。「とくにダイニングボードは女性目線の工夫を凝らしており、



『こういうのが欲しかった』と好評をいただいています」。一方、売り上げの8割を占めるOEM製品は、オリジナル家具をベースにそれぞれの小売店がアレンジを加え、ターゲットを絞り込んだ魅力的な製品に仕上げられています。

最近では小ロットでも生産できる家具メーカーが増えていますが、末次家具工芸はさらに少ない“微ロット”にも対応できる生産体制。「1台でもつくれるノウハウがあるんですよ」と、川原社長は自信を見せます。

川原社長のフットワークのよさと迅速な対応は、取引先を驚かせることもしばしばです。「カタログを請求されたらすぐ東京まで持参したり、試作品を3日でつくり上げたりしますから、よく『おたくに頼むと話が早い』と言われるます」。取引先の小売店は、全国的に名の知られた企業ばかり。「お客さまに恵まれていることが、当社が一番の宝です」と、川原社長は笑顔で話します。





## 世界3大銘木“チーク”の家具をはじめ、 高級なラインの家具やベッドを製造。—株式会社 スマート・リビング



### 株式会社スマート・リビング

所在地 / 〒831-0008

福岡県大川市鐘ヶ江227-2

代表者 / 江藤 義行

TEL0944-85-8548

FAX0944-85-8547

[URL] <http://www.smart-living.co.jp/>

[E-mail] [info@smart-living.co.jp](mailto:info@smart-living.co.jp)

設立 / 2014年6月に(株)エトウより分社化

資本金 / 1,000万円

従業員 / 28名

営業時間 / 8:00~17:00

定休日 / 土・日・祝

2014(平成26)年に、エトウのインテリア事業部が分社化されて誕生したスマート・リビング。エトウ時代から引き続き、高級なラインの家具を製造・販売しています。世界3大銘木の一つに数えられるチーク材の家具を製造しているのは、全国でもスマート・リビングだけです。

おもな製品アイテムは、ホテルや病院などで使われるチェストやベッドなど。全て卸しで、とりわけ多いのが高級ベッドメーカー各社からの注文です。「指定された仕様に忠実に作り、厳しい品質基準をクリアするには、確かな技術が必要です。弊社には熟練の職人がいるので、小ロットで高性能な製品も自信をもって出せます」と、社長は胸を



張ります。

これからの課題は、若手職人の育成。優れた技術を確実に継承していくため、海外からの実習生も受け入れるなど、グローバルな技術提携も考えています。

母体であるエトウ同様、社員に対する英会話レッスンやエクセルセミナーなどの教育体制が充実しているのも、魅力のひとつ。「グローバル化に対応するためには、英語で書類をやりとりできるようにしたい」。そう話す社長「いつかアメリカに進出できたら」という夢も抱いています。



#### TOP VOICE

女性スタッフが産休や育休から復職しやすい勤務体制や、定年を迎えた職人の再雇用など、優秀な人材や技術を確保するための職場づくりに励んでいます。さらに充実させ、「大川にこんな会社があるのね」と注目を集めるような会社になりたいですね。





ブランド戦略とネット直販で注目された会社。  
 日田の椅子メーカーを子会社化して  
 さらなる成長へ。——— 株式会社 生松工芸



株式会社 生松工芸  
 所在地 / 〒831-0016  
 福岡県大川市酒見1648  
 代表 / 代表取締役 石山 隆通  
 TEL0944-86-5151  
 FAX0944-86-5713  
 [URL] <http://comfort-style.co.jp>  
 [E-mail] [info@comfort-style.co.jp](mailto:info@comfort-style.co.jp)  
 従業員 / 40名  
 営業時間 / 11:00 ~ 17:00  
 定休日 / なし



生松工芸は、現在3つの工場を抱え、お手ごろ価格の棚ものの家具、ハイクラスの家具、そしてソファと、それぞれの職人の技を生かした家具づくりを進めています。もともと同業メーカーの下請けとして書棚やリビングボードなどを量産していましたが、2004年に現会長の実家である家具工場を引き受けたことから会社のスタイルに少し変化が生まれました。というのも、引き受けた工場と職人は婚礼家具のエキスパート。同社がそれまでつくっていた商品と異なったからです。大所帯となって社の方向性を考えあぐねていたところ、ちょうど、市の「インテリア塾」でウェブマーケティングを学ぶ機会に恵まれ、ブロードバンドが整備されたことから、それを実践。職人の技を生かしたハイクラスの家具製造に焦点を定めると同時にネット直販を始めたのです。どんな反応があるのか不安でしたが、数カ月後には10万円以上の高価な家具がネット

で反響を呼び、手ごたえを感じたといいます。今では珍しい高級家具のネット販売ですが、大川では同社が先駆者的存在となりました。今では、高級家具メーカー・販売店のOEM商

品も受注しています。それらは高品質が求められ、また妥協がないため、従業員が「つくれない」と弱音を吐いたことも。しかし、それをあきらめずにつくることで力が伸びていった、と石山社長は話します。2013年、椅子を外注していた日田のメーカーを子会社化。今ではソファや椅子の製造も行い、扱う家具の種類は増えています。



TOP VOICE

今後は工場内に展示・販売スペースを設ける予定。ネットからリアル店舗へと拡大して需要を掘り起こし、新しい展開に挑みます。





長い年月をかけて大地で育ってきたストーリーや力強さ、ぬくもりが詰まっています。——株式会社 関家具 工房木馬



### 株式会社 関家具 工房木馬

所在地／

[本社] 〒831-0026 福岡県大川市三丸1839-1  
TEL 0944-78-1843 FAX 0944-87-3258

代表者／関 文彦

[URL] <https://mokuba.co.jp/>

[E-mail] HPのメールフォームから送信ください

創立／平成23年8月

資本金／1000万円

従業員／54名

営業時間／8:30～18:00

定休日／日曜日、第2・4土曜日

[大川ギャラリー] 〒831-0033 福岡県大川市幡保172-3

TEL 0944-88-0108

営業時間／10:00～18:00 定休日／なし



自社ブランド「ATELIER MOKUBA(アトリエ木馬)」は美しい一枚板の高級テーブルブランドとして人気を集め、シンガポールやドバイにまで販路を広げています。

世界中から直接丸太の仕入れを行い、産地大川の特性と日本最大級の設備を備えた自社工場を活かして製材から加工まで一環して行なっています。

一枚板とは、一本の木を製材し、一枚の板にした物です。取り扱い樹種は約200種類以上。最大12mまで加工可能なので、幅広いサイズの対応ができます。



全国に15店舗あり、中でも大川ギャラリーは、関家具大川本店のビル1Fの一角にあり、売場面積 約2000坪の広さと展示枚数100枚以上、在庫総数500枚以上という多様なアイテムが揃い、トータルでコーディネートのご提案ができます。

一枚板の製造工場も近く見学もできますので、丸太の状態から乾燥中の材、仕上げの工程など一枚板を体感いただけるほか、ご希望の一枚板が店頭にはない場合には仕上げ前の原木も倉庫よりお出ししてご提案できるそうです。まさに自分だけの世界に1枚しかないテーブルに出会えます。

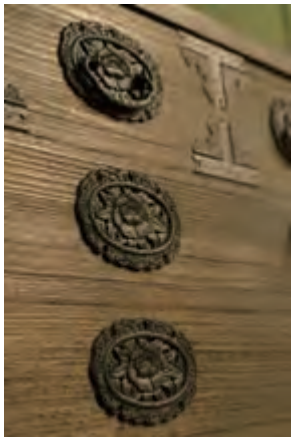


### TOP VOICE

私たちは、本物だけを届けたいと考えており、たどり着いた答えが一枚板でした。偉大な大地が育んだ樹木が数百年の時を経て、一枚の板となり、世界にふたつとない家具となる。職人の情熱をまとった一枚板のテーブルは、自然のあたたかな風合いで家族が集う憩いの場所を心地いい空気で包み込み、会話を弾ませ、心の距離をそっと近づけるでしょう。

暮らしの真ん中で、人の心と心をつないでいく。それが「ATELIER MOKUBA」の想いです。





## 桐たんすづくりで培った技を 総桐の組子ベッドやたんす再生に生かす。

株式会社 総桐筆筒和光



株式会社 総桐筆筒和光

所在地 / 〒830-0424

福岡県三潁郡大木町三八松1048

代表者 / 加島 功一

TEL0944-33-1421

FAX0944-33-1423

[URL] <http://www.tansu.com/>

[E-mail] [wako@tansu.com](mailto:wako@tansu.com)

創業 / 昭和37年11月

設立 / 昭和61年4月

資本金 / 1000万円

従業員 / 10名

営業時間 / 9:00 ~ 18:00

定休日 / なし(年中無休)



桐たんすのショールームとしては九州一の規模を誇る和光のショールーム。たんすやベッド、チェストなど、熟練の技で仕上げた桐の家具がずらりと並びます。桐たんすに加えて、近年とくに人気なのが総桐の組子ベッドです。組子ベッドは桐自体の湿気の吸排出効果に加え、組子を床材としているため布団との接地面が少なく、布団のカビの発生を抑え布団本来の機能を長く引き出すことができます。「最近の健康志向や住環境の変化を背景に、組子ベッドの注文が年々増えています。高機能で見た目も美しく、季節を問わず快適です」と加島社長。組子ベッ

ドでは特許を取得しています。桐たんすに関しても、独自の表面特殊加工技術を開発。“手垢がつく”“変色する”といった桐たんす特有の問題を解決しています。また同社では顧客の要望に応じて、タンス再生も行っています。長年、桐たんすづくりで培った多彩な技を、洗いやリフォーム技術に生かし、古くなったたんすを新品同様に生まれ変わらせています。



### TOP VOICE

日本一軽い材といわれる桐には、様々な優れた特長があります。桐たんすや組子ベッドは、まさに日本の気候風土にマッチした家具といえます。ご希望のサイズやデザインでの別注も承ります。



「<sup>くつろ</sup>寛ぎ」をテーマに心地よい家具を自社で製造。  
消費者の声を大事にしたきめ細かな対応も評判。

株式会社 園田産業



株式会社 園田産業

所在地/〒831-0006

福岡県大川市中古賀561-1

代表者/園田 康介

TEL0944-87-3193

FAX0944-86-5884

[URL]http://sonoda-sangyo.com/

[E-mail]sonoda-03@chive.ocn.ne.jp

創業/ 1961年1月

設立/ 1980年1月

資本金/ 1,000万円

従業員/ 28名

営業時間/ 8:00 ~ 18:00

定休日/日曜・祭日、第2・4土曜



天板の高さが一般的な70cmよりやや低めの65cmで、女性の足が床にしっかりつく食卓。座ったら動かないけれど、立ち上がったらスッと動く、隠しキャスター付きの椅子。クッションの硬さを変更できるソファ。「寛ぎ」をテーマに座り心地、居心地の良さを追求した商品が社内ショールームに並びます。



#### TOP VOICE

「寛」ブランドからわかるように、私たち園田産業がかかげるモノづくりのテーマは「寛(くつろ)ぎ」です。忙しくて慌ただしい現代社会において、自分自身や家族との大切なひとときや心地よい休息の時間を育むお手伝いができる様な家具。そんな人と家具との関わり方を想いながら、日々モノづくりに励んでいます。



従業員は卸先の全国の百貨店・家具店へ足を運んで販売員にその魅力を伝える一方、年間約30回開催される家具フェア会場に立って消費者の声を直接聞くようにしています。その声から生まれた商品も多く、消費者のニーズに合う商品づくりや1cm単位でサイズ変更するきめ細かな対応に定評があります。それができるのも、会長、社長はじめ従業員がデザインし、すべて大川市内の工場で製造しているから。「寛」ブランドを定着させ、シンプルなデザインながら長く愛される高品質の家具づくりに努めています。